

<フレックスタッチについて>

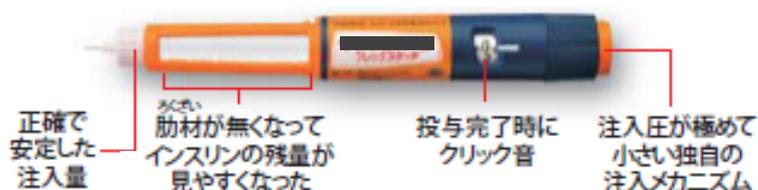
リウマチ、視覚障害、手が震える、握力低下などの障害を持つ方に適したデバイスの検討

従来の製剤：イノレット製剤



- 単位目盛りが見やすい
- 握りやすい
- 注入ボタンが大きい

新型注入器：フレックスタッチ製剤



- 注入ボタンが伸びず、押しやすい
- 注入圧が軽く、打ちやすい
- 単位設定時のクリック感やクリック音が強い
- ペン型なので携帯しやすい



↳ **イノレット製剤の代わりとなり得る**

※身体上の理由がありイノレット製剤を使用している場合、
下記フレックスタッチ製剤への変更を検討する

薬効分類	イノレット製剤 → フレックスタッチ製剤
持効型	レベミル注イノレット → トレシーバ注フレックスタッチ
超速効型	ノボラピッド注イノレット → ノボラピッド注フレックスタッチ
混合型	イノレット30R注 → ライゾデグ配合注フレックスタッチ